

問1 西アジア地域では、アフガニスタンやシリアなどで長期にわたる紛争や内戦が発生しており、多くの難民が生じています。日本における難民認定数が2021年の74人から2023年には303人へと増加している現状について、その背景や状況を説明したものととして最も適切なものを選びなさい。（2025年 神奈川県公立入試 類似）

1. アフガニスタンの情勢不安やシリアの内戦により多数の難民が発生しており、日本においても近年、アフガニスタン出身者を中心とした難民の受け入れ数が増加している。
2. 冷戦終結後は国際的な緊張が緩和されたため、西アジア諸国における紛争の発生件数や難民の数は、2011年以降、世界全体で見ると減少傾向にある。
3. シリアにおける難民発生 of 主な要因は、エルサレムの帰属をめぐる宗教対立による内戦であり、日本はPKO協力法に基づき現地 of 治安維持に軍事介入している。
4. 日本は1979年のソ連 of アフガニスタン侵攻以降、西アジアからの難民を毎年数千人規模で受け入れ続けてきたが、2020年代に入りその数は減少に転じている。

問2 フィリピン、ノルウェー、日本の3か国の発電方法別発電量を比較した統計において、フィリピンは地熱による発電量が約104億キロワット時と、他の2か国に比べて際立って高い数値を示しています。フィリピンにおいてこのように地熱発電が盛んな理由として、最も適切な背景を選びなさい。（2022年 岡山公立入試 類似）

1. 環太平洋造山帯に属しており、国内に多くの火山が分布しているため
2. 赤道に近い低緯度に位置し、年間を通じて日照時間が長いため
3. 偏西風の影響を強く受ける地域であり、安定した風力が得られるため
4. 氷河によって削られた急峻な地形が多く、水力を利用しやすいため

問3 近年、急速な経済成長を遂げているインドの産業構造に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 島根公立入試 類似）

1. 豊富な労働力を背景に、ダイヤモンドなどの輸入した原石を加工して輸出する工業が盛んである。
2. 世界最大のダイヤモンド鉱山を保有しており、未加工の原石をそのまま輸出する採掘業が中心である。
3. 石油製品の輸出額が多いのは、国内の広大な砂漠地帯で原油が豊富に採掘されているからである。
4. かつての宗主国であるイギリスとの経済的結びつきが強く、輸出品の過半数をイギリスが占めている。

問4 1960年代から2020年頃にかけて人口が急激に増加し、十数億人に達したインドでは、爆発的な人口増加に伴う深刻な食料不足を解決するために、農業技術の大きな転換が行われました。この取り組みの内容として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2024年 群馬公立入試 類似）

1. 高収量品種への品種改良や化学肥料の大量投入により、単位面積あたりの穀物生産量を飛躍的に増大させた。
2. 環境保護のために化学肥料や農薬の使用を禁止し、伝統的な有機農業を国全体で推進した。
3. 自給用の穀物生産から、輸出を目的とした茶や綿花などの商品作物の大規模生産へと切り替えた。
4. 労働力不足を解消するために、AIやロボット技術を活用したスマート農業を1960年代から導入した。

問5 中国の人口ピラミッドの変化を分析した次の説明のうち、正しいものはどれですか。なお、1970年の統計では若年層の割合が非常に高い「富士山型」の形をしていましたが、2020年の統計では0歳から14歳の割合が大幅に縮小し、65歳以上の割合が厚くなっています。（2024年 福島県公立入試 類似）

1. 人口抑制政策の影響などにより、少子高齢化が急速に進展している。
2. 経済成長に伴う労働力不足を補うため、若年層の移民が急増している。
3. 出生率が極めて高いため、将来的に労働力人口が過剰になることが予想される。
4. 乳幼児の死亡率が高まったため、ピラミッドの裾野が狭まっている。

問6 中国の内陸盆地である四川地方において、その土地の農業や地理的条件と深く結びついた食文化の特徴として正しいものはどれですか。（2021年 大分県公立入試 類似）

1. 盆地で生産される大豆や香辛料をふんだんに使った、マーボー豆腐などの辛みの強い料理。
2. 小麦を主原料とした皮で具材を包む八宝菜を中心とした、蒸し料理や煮込み料理。
3. 長江の下流域で獲れる魚介類を主役とし、素材の味を活かした砂糖と醤油による甘辛い料理。
4. 広大な牧草地を利用した羊肉の料理が中心で、小麦の粉を練って焼いたナンを主食とする文化。

問7 ASEAN（東南アジア諸国連合）が現在行っている国際的な取り組みやその特徴について、正しい説明はどれですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 域内の経済や政治の安定を目指すだけでなく、日本・中国・韓国などの周辺国を交えた会議を開催し、広域での連携を図っている。
2. ヨーロッパにおける欧州連合（EU）と同じように、加盟国すべてで共通の通貨を導入し、国境を完全に廃止している。
3. 加盟国を自由主義経済の国のみ限定しているため、社会主義体制をとるベトナムやラオスなどは加盟が認められていない。
4. 域内の関税を高く設定することで、アメリカや日本などの先進工業国からの製品輸入を厳しく制限する政策をとっている。

答え合わせ・解説

- 問1** **答え 1**
アフガニスタンの情勢不安やシリアの内戦により多数の難民が発生しており、日本においても近年、アフガニスタン出身者を中心とした難民の受け入れ数が増加している。
- 西アジアのアフガニスタン、シリア、イラクなどは、長引く紛争によって世界的な難民発生国となっています。日本は1992年に制定されたPKO協力法（国際平和協力法）などを通じて国際平和に向けた協力を行ってきました。日本の統計データによると、難民として認定された人の数は2021年の74人から2023年には303人へと増加しており、特に近年の国際情勢を反映してアフガニスタン出身者の受け入れが急増していることが特徴です。
- 問2** **答え 1**
環太平洋造山帯に属しており、国内に多くの火山が分布しているため
- フィリピンは日本と同様に環太平洋造山帯に位置しており、地形的な特徴として火山が非常に多く分布しています。この火山の熱エネルギーを直接利用する地熱発電は、天候に左右されず安定した電力を供給できる再生可能エネルギーとして、フィリピンの電力供給において重要な役割を果たしています。なお、選択肢にある「氷河による地形」はノルウェーなどの特徴であり、そちらでは水力発電が主流となっています。
- 問3** **答え 1**
豊富な労働力を背景に、ダイヤモンドなどの輸入した原石を加工して輸出する工業が盛んである。
- インドの経済成長は、特定の資源に依存するのではなく、高度なITサービスや、豊富な労働力を活用した加工・製造業によって支えられています。ダイヤモンドが輸出品目の上位にあるのは、インド国内で採掘されるからではなく、海外から輸入した原石を研磨・加工して付加価値を高めてから輸出する産業が発達しているためです。
- 問4** **答え 1**
高収量品種への品種改良や化学肥料の大量投入により、単位面積あたりの穀物生産量を飛躍的に増大させた。
- インドなどの開発途上国では、急増する人口を支えるための食料確保が大きな課題でした。そこで、小麦や米などの穀物において、病気に強く収穫量の多い品種への改良が進められ、さらに化学肥料や農薬、灌漑設備の整備を組み合わせることで、生産力を大幅に向上させました。この一連の農業技術革新は「緑の革命」と呼ばれます。
- 問5** **答え 1**
人口抑制政策の影響などにより、少子高齢化が急速に進展している。
- 長年にわたる人口抑制政策によって出生率が低下した一方で、医療の進歩や生活水準の向上により平均寿命が延びたため、中国は世界でも類を見ない速さで高齢化社会へと突入しました。かつての若年層が多い人口構成から、現在は支える側が減り支えられる側が増える構造へと変化しています。
- 問6** **答え 1**
盆地で生産される大豆や香辛料をふんだんに使った、マーボー豆腐などの辛みの強い料理。
- 四川地方は内陸の盆地という地形的特徴から、夏は高温多湿、冬は冷え込みが厳しい環境にあります。こうした気候を乗り切るために、刺激の強い香辛料を多用する工夫がなされました。盆地内で栽培される大豆を原料とした豆腐と、独自の香辛料を組み合わせた料理がこの地域の特色です。
- 問7** **答え 1**
域内の経済や政治の安定を目指すだけでなく、日本・中国・韓国などの周辺国を交えた会議を開催し、広域での連携を図っている。
- ASEANは、自組織の中だけで完結するのではなく、日本・中国・韓国を加えた「ASEAN+3（アセアンプラススリー）」や、さらに多くの国が参加する「東アジアサミット」などを通じて、東アジア全体の平和と経済発展に向けた対話の場を提供しています。これにより、地域外の主要国とも密接な協力関係を築いています。